

第 33 期

# 中間事業報告書

平成16年10月21日 >>> 平成17年4月20日



総合建設コンサルタント

## 株式会社 キタック

東京・仙台・上越・佐渡・山形・福島

〒950-0965 新潟市新光町10番地2  
TEL (025) 281-1111 (大代表) FAX (025) 281-0001  
<http://www.kitac.co.jp/>

# KITAC

株式会社 キタック

**R100** PRINTED WITH  
ISOYINK  
古紙の含有率100%の再生紙  
を使用しています。 環境に配慮した「大豆インク」  
を使用しています。

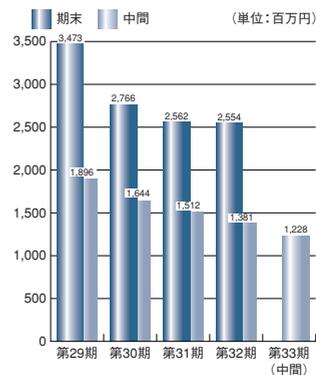
**JASDAQ**

証券コード 4707

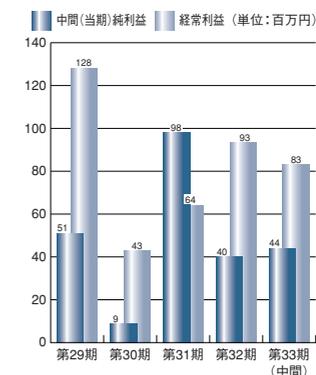
## ●財務ハイライト（連結）

## 株主の皆様へ

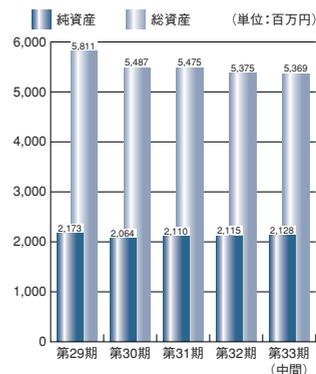
### 売上高



### 中間(当期)純利益／経常利益



### 純資産／総資産



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第33期中間期（平成16年10月21日～平成17年4月20日）の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

#### ■当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な輸出に支えられて企業収益の改善や民間設備投資の増加などにより個人消費も底堅く推移しましたが、原油、鋼材価格の高騰などによる先行き不透明感そして国・地方自治体の慢性的な財政難を背景にして、本格的な景気回復に至らぬまま、依然として厳しい状況で推移いたしました。

その中で、当社グループの属する建設コンサルタント業界の市場環境につきましても、予算縮減による国・地方自治体の公共投資抑制政策により、業務量の減少ならびに受注単価の引き下げが継続しており、前連結会計年度に引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況のもとで、当社グループは、より幅広い顧客層に対し積極的に営業展開し、受注の確保に取り組み、さらには新潟県中越地震による災害特需の影響などを受けた結果、当中間連結会計期間における連結受注高は15億7千8百万円（前年同期比53.0%増）と増加いたしました。しかしながら、被災地が豪雪地域であったため工期延長などにより連結売上高は12億2千8百万円（同11.1%減）と減収になりましたが、徹底した原価管理を実施したことにより連結営業利益1億1千4百万円（同9.9%増）、連結経常利益8千3百万円（同9.9%増）、連結中間純利益4千4百万円（同5.0%増）と増益になりました。

#### ■通期の見通し

通期の見通しといたしましては、国および地方自治体の公共事業費見直しなどにより引き続き公共投資は縮小傾向にあり、特に地方自治体においては一段と削減され、市場は厳しい競争状態が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、過去に蓄積された優れた技術、ノウハウをベースにした他社と異なる知的資産を用いて、従来業務を確保するよう努力し、同時に、新しい分野として「都市再生のマスタープラン」、「エネルギービジョン」、「土木・建築の構造物耐震診断及びメンテナンス」や「環境関連業務」ならびに自治体の合併に伴うニュービジネスの開拓などに積極的に資源を投入し、時代のニーズに合わせた組織を構築いたします。

また、他社と差別化した手法を用いた技術提案を積極的に営業活動に取り入れ、受注目標を達成するように努めるとともに、引き続きコスト管理を徹底し、利益目標の達成に努める所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年7月  
代表取締役社長 中山 輝也



## CONTENTS

株主の皆様へ……1

Topics……2

中間連結貸借対照表……4

中間連結損益計算書/中間連結剰余金計算書……5

中間連結キャッシュフロー計算書……6

個別中間財務諸表……7

事業の概要・株主メモ……8

会社概要……9

## KITAC・フロンティア

### リモートセンシング技術への取り組み

(対象物に直接触れずに対象物の大きさ、形及び性質を観測する技術)

#### ■ 衛星画像販売

- ・業務に利用する情報技術の拡充を目指し、複数の衛星から撮影された立体衛星画像を利用できるようになりました
- ・新潟県内の衛星画像販売は、コンサルタント業界独占契約をしています

#### ■ 立体レーザースキャニングの活用

(レーザーを使用し、対象物の立体形状を計測する3次元空間測量技術)

- ・地上レーザーを活用して業務を行っています
- ・航空機からレーザーを照射し、立体映像を作成して当社の業務に活用しています

### 主要事業の内容

#### ■ 調査

- 土質、地質に関する調査・試験・計測・解析、地下及び海底探査・解析、土木構造物の診断及び補修調査
- 地下水、地熱、地下資源に関する調査解析
- 環境についての調査・解析、企画、立案

#### ■ 設計

- 土木構造物(地盤)設計、橋梁・トンネル・構造物設計、道路設計、河川砂防海岸設計、上下水道設計、都市計画設計、ダム設計、地すべり急傾斜地対策設計など土木設計、構造物の維持管理に関する企画、立案

#### ■ 一級建築士事務所

#### ■ 測量

## 中間連結貸借対照表 (平成17年4月20日現在)

### ●中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,446,545	流動負債	1,040,025
現金及び預金	517,780	業務未払金	126,308
受取手形及び 完成業務未収入金	526,621	短期借入金	416,332
たな卸資産	359,201	未払金	134,321
繰延税金資産	27,396	未成業務受入金	272,447
その他	17,020	未払法人税等	40,158
貸倒引当金	△1,476	未払消費税等	3,170
固定資産	3,923,037	賞与引当金	43,311
有形固定資産	3,632,214	その他	3,975
建物及び構築物	484,742	固定負債	2,200,795
機械装置及び運搬具	6,581	社債	700,000
工具器具備品	387,608	長期借入金	1,230,145
賃貸資産	525,606	退職給付引当金	86,394
土地	2,227,674	役員退職慰労引当金	168,636
無形固定資産	15,332	その他	15,619
投資その他の資産	275,490	負債合計	3,240,820
投資有価証券	130,010	(少数株主持分)	
繰延税金資産	92,662	少数株主持分	—
その他	53,317	(資本の部)	
貸倒引当金	△500	資本金	479,885
資産合計	5,369,582	資本剰余金	306,201
		利益剰余金	1,448,591
		その他有価証券評価差額金	4,461
		自己株式	△110,376
		資本合計	2,128,762
		負債、少数株主持分及び資本合計	5,369,582

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額…1,118,240千円  
2.担保に供している資産 流動資産及び有形固定資産…3,105,832千円  
3.自己株式の数…368,000株

## 中間連結損益計算書 / 中間連結剰余金計算書 (自平成16年10月21日 至平成17年4月20日)

### ●中間連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		1,228,968
売上原価		818,199
売上総利益		410,768
販売費及び一般管理費		296,068
営業利益		114,699
営業外収益		
受取利息	27	
受取配当金	375	
機器等賃貸収入	529	
その他の	488	1,419
営業外費用		
支払利息	28,191	
その他の	4,348	32,539
経常利益		83,579
特別利益		
貸倒引当金戻入益	449	449
特別損失		
固定資産処分損	371	371
税金等調整前中間純利益		83,656
法人税、住民税及び事業税	37,466	
法人税等調整額	1,918	39,384
中間純利益		44,272

(注) 1株当たりの中間純利益 (期中平均発行済株式総数により算出) …7円90銭

### ●中間連結剰余金計算書

(単位:千円)

(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高		306,201
資本剰余金中間期末残高		306,201
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高		1,446,326
利益剰余金増加高		
中間純利益	44,272	44,272
利益剰余金減少高		
配当金	42,007	42,007
利益剰余金中間期末残高		1,448,591

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成16年10月21日 至平成17年4月20日)

●中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー(うち、減価償却費)	360,203 ( 35,865)
投資活動によるキャッシュ・フロー(うち、設備投資額)	△11,695 ( △265)
財務活動によるキャッシュ・フロー(うち、配当金)	△299,483 (△42,007)
現金及び現金同等物の増加額	49,024
現金及び現金同等物の期首残高	468,756
現金及び現金同等物の中間期末残高	517,780

■キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加はありましたが、投資活動ならびに財務活動による資金の減少により、当中間連結会計期間末には5億1千7百万円(前年同期比3千8百万円減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億6千万円(前年同期は6億5千万円の獲得)となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益8千3百万円、減価償却費3千5百万円、未成業務受入金の増加額2億7千万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1千1百万円(前年同期は3千1百万円の獲得)となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出1千万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億9千9百万円(前年同期は4億6千3百万円の使用)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出1億5千7百万円、短期借入金の純減少額1億円等によるものであります。

環境にやさしいエネルギーづくり



当社製マイクロ風力発電機 (当社駐車場)

個別中間貸借対照表 (平成17年4月20日現在)  
個別中間損益計算書 (自平成16年10月21日 至平成17年4月20日)

●個別中間貸借対照表 (単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	1,412,788	流動負債	1,050,400
現金及び預金	501,148	業務未払金	152,545
受取手形	1,350	短期借入金	410,392
完成業務未収入金	516,933	未払法人税等	39,913
たな卸資産	352,780	未成業務受入金	267,822
繰延税金資産	26,543	賞与引当金	43,311
その他	15,289	その他	136,416
貸倒引当金	△1,256	固定負債	2,169,372
固定資産	3,995,100	社債	700,000
有形固定資産	3,594,565	長期借入金	1,198,722
建物	453,036	退職給付引当金	86,394
工具器具備品	387,071	役員退職慰労引当金	168,636
賃貸資産	525,606	その他	15,619
土地	2,205,925	負債合計	3,219,772
その他	22,923	<b>(資本の部)</b>	
無形固定資産	13,495	資本金	479,885
投資その他の資産	387,039	資本剰余金	306,201
投資有価証券	242,291	資本準備金	306,201
繰延税金資産	92,662	利益剰余金	1,507,945
その他	52,585	利益準備金	48,207
貸倒引当金	△500	任意積立金	1,333,710
資産合計	5,407,889	中間未処分利益	126,027
		その他有価証券評価差額金	4,461
		自己株式	△110,376
		資本合計	2,188,116
		負債・資本合計	5,407,889

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額…1,066,306千円  
2.担保に供している資産 流動資産及び有形固定資産…3,071,947千円  
3.自己株式の数…368,000株

●個別中間損益計算書 (単位:千円)

科 目	金 額
売上	1,207,621
売上総利益	810,983
販売費及び一般管理費	396,638
営業利益	278,204
営業外収益	118,433
営業外費用	1,417
経常利益	31,883
特別損失	87,967
特別利益	449
税引前中間純利益	371
法人税、住民税及び事業税	88,045
法人税調整額	37,221
中間繰越利益	2,068
中間未処分利益	39,289
	48,755
	77,272
	126,027

(注) 1株当たりの中間純利益 (期中平均発行済株式総数により算出) …8円70銭

## 事業の概要 (平成17年4月20日現在)

### ●受注状況・販売実績

(単位:千円)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成15年10月21日 至 平成16年 4月20日)		当中間連結会計期間 (自 平成16年10月21日 至 平成17年 4月20日)	
	受注状況	販売実績	受注状況	販売実績
建設コンサルタント事業	1,031,688	1,329,994	1,578,543	1,182,390
その他事業	—	51,807	—	46,577
合 計	1,031,688	1,381,801	1,578,543	1,228,968

### ●営業成績および財産状況の推移

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成15年10月21日 至 平成16年 4月20日)	当中間連結会計期間 (自 平成16年10月21日 至 平成17年 4月20日)
	売上高(千円)	1,381,801
経常利益(千円)	76,019	83,579
中間純利益(千円)	42,162	44,272
1株当たり中間純利益	7円52銭	7円90銭
総資産額(千円)	5,152,986	5,369,582

### 株主メモ

決算期	毎年10月20日
定時株主総会	毎年1月
基準日	毎年10月20日 その他必要があるときは予め公告いたします。
配当金受領 株主確定日	10月20日 なお、中間配当を実施するときの 株主確定日は4月20日。
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞 ※ (※貸借対照表に係る情報は、当社のインターネット・ホーム ページ(URLは、http://www.kitac.co.jp/)において 提供しております。)
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先連絡先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 ☎03(3323)7111(大代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

## 会社概要 (平成17年4月20日現在)

名 称	株式会社キタック KITAC CORPORATION
設 立	昭和48年2月1日
資 本 金	4億7,988万5,200円
従業員数	132名
役 員	代表取締役社長 中山 輝 也 常務取締役 大谷 政 敬 常務取締役 小野澤 彰 男 常務取締役 鈴木 嘉 行 取 締 役 木野井 彰 取 締 役 坪 川 行 雄 監 査 役 長 原 哲 夫 監 査 役 安 尻 利 行

### 事業所所在地

本 社	〒950-0965 新潟県新潟市新光町10番地2 TEL(025)281-1111(大代表) FAX(025)281-0001
東京支店	〒111-0051 東京都台東区蔵前2-4-5 岩金ビル2F TEL(03)5687-1271(代) FAX(03)5687-5379
仙台支店	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-1-37 キタックビル2F TEL(022)265-1050(代) FAX(022)265-1051
北信越事業所	〒942-0085 新潟県上越市五智国分3121-4 TEL(025)543-9777(代) FAX(025)543-9922
佐渡事業所	〒952-1209 新潟県佐渡市千種丙207-1 TEL(0259)61-1666(代) FAX(0259)61-1655
山形事務所	〒990-2435 山形県山形市青田4-8-8 TEL(023)634-3350(代) FAX(023)634-3349
福島事務所	〒963-8014 福島県郡山市虎丸町6-18 橋本ビル2F TEL(024)923-5981(代) FAX(024)923-6320

### 地域メセナ —ゆとりと潤いを地域に還元—



知足美術館